

都市部における高速道路・鉄道駅と周辺幹線道路のアクセス強化による魅了あるまちづくりの推進

群馬県の現状

群馬県は、自動車への依存度は非常に高くなっており、主要都市周辺や幹線道路では、朝・夕の交通混雑のため、旅行速度が低下している状況です。これらの交通問題により、都市環境に多大なる支障をきたしていると考えられる。

課題

広域幹線道路については重要路線として重点整備を進めていますが、未整備箇所の周辺道路について慢性的な渋滞が発生しています。交通の円滑化を図り、周辺とのアクセス強化を推進する必要があります。

目的

地域の拠点となる高速道路インターチェンジ・鉄道駅への利便性・安全性の向上を図るため、周辺幹線道路の整備等を行い、地域の活力を生み出す都市環境の整備された魅力あるまちづくりを実施する。

事業の指標

指標：地域の拠点から、高層道路ICや鉄道駅へのアクセス時間を算出し、時間短縮率を計上する

$$\Sigma \{ ((\text{整備前のアクセス時間} - \text{整備後アクセス時間}) / (\text{整備前のアクセス時間})) * 100$$

(単位:パーセント)

成果と達成度報告

地域の拠点から、高層道路ICや鉄道駅へのアクセス時間短縮率

現況: 0%(H25) ⇒ 最終目標: 20.0%(H29)
⇒ 最終実績: 20.0%(H29)

東毛幹線や高架東2号線他11線などの道路整備により効果が発現した。

その他の定性的な成果

道路改築事業等の完成により、旅行速度の上昇や観光道路としてだけでなく、地元の生活道路として住民の安全な通行や良好な生活環境の確保に寄与できた。

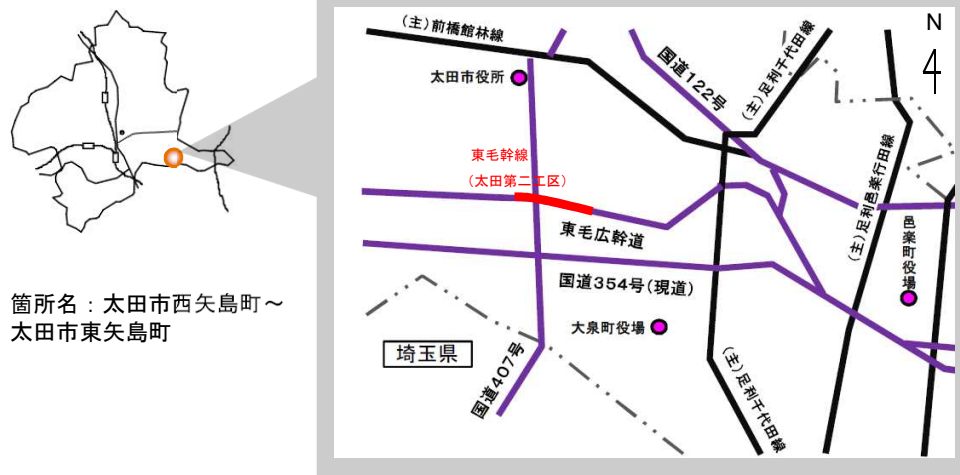
今後の方針

引き続き、地域の拠点から、高速道路ICや鉄道駅への利便性・安全性の向上を図るため、周辺幹線道路の整備等を行い、地域の活力を生み出す都市環境の整備された魅力あるまちづくりを実施する。

整備効果事例

事例①（都）東毛幹線（太田第二工区）

■位置図



箇所名：太田市西矢島町～
太田市東矢島町

■整備効果

整備前



慢性的な交通渋滞により、東西方向の移動に時間がかかるだけでなく、緊急車両の通行の妨げになっていた。

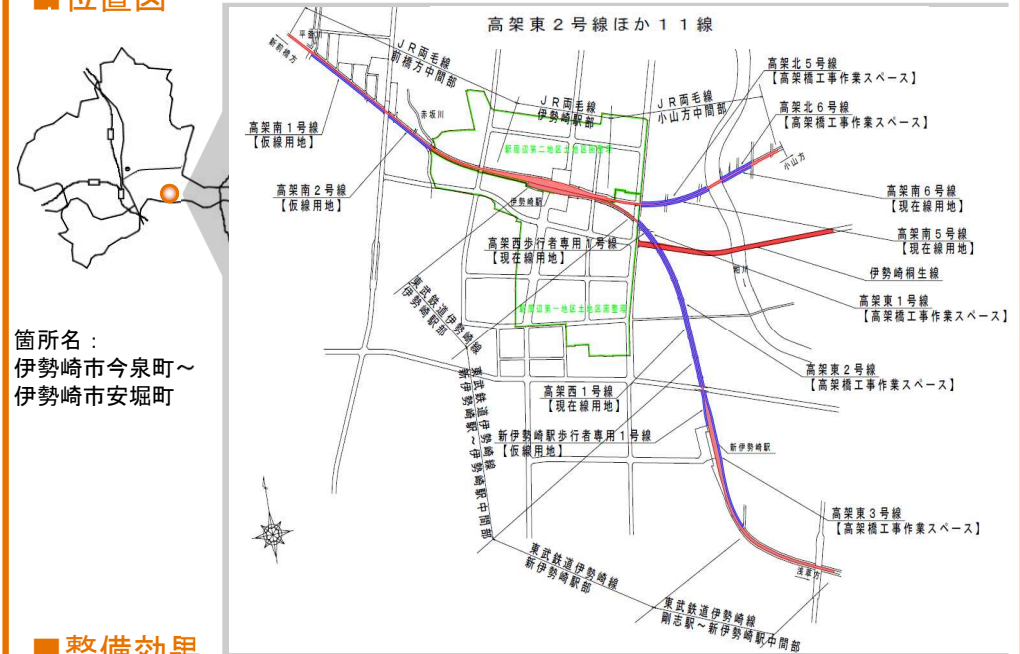
整備後



東西方向の通行がスムーズになり、市内の渋滞が解消された。

事例② 高架東2号線他11線（JR両毛線・東武伊勢崎線）

■位置図



箇所名：
伊勢崎市今泉町～
伊勢崎市安堀町

■整備効果

整備前



現道の側道幅員が狭く伊勢崎駅及び新伊勢崎駅へのアクセス道路として支障をきたしていた。

整備後



駅利用者の利便性や快適性の向上による交通結節点の機能強化を図れた。